

県央ブロックごみ処理施設整備候補地 住民説明会の開催結果

- 1 開催日時 平成 30 年 7 月 20 日（金） 18 時 30 分から 19 時 55 分
- 2 開催場所 地域福祉センター
- 3 出席者
 - (1) 住 民 10 名
 - (2) 報道機関 3 社
 - (3) 協議会 8 名（菅原事務局長，櫻次長，森田主幹，菊池副主幹，畠山室長，古川主査，高橋主査，木村主任）
- 4 会議概要
 - (1) 開会
櫻次長により開会及び司会進行
 - (2) あいさつ
菅原事務局長からあいさつ
 - (3) 説明
畠山室長・高橋主査から「県央ブロックごみ処理施設の整備について」を説明
 - (4) 質疑（質問者 3 名，質問・意見数 16 件）

発言者・回答者	発言内容
①A	<p>1 4 か所の候補地のうち，場所については決定できているのか，どうしてもだめなところはあるのか。</p>
→畠山室長	<p>1 候補地それぞれの状況があり，市クリーンセンター敷地においては 2 回目の説明会に入れていない状況である。理由としては，覚書の協議を優先するべきであることと，施設建設への反対がある。候補地ごとに状況に差が出ている。盛岡南インターチェンジ付近においては，盛岡商工会議所・都南地域運営協議会からの要望があるものの，周辺自治会や農業関係団体から反対の意見が出されている。盛岡インターチェンジ付近についても，誘致の要望があるものの，一部から反対の意見が出されている。盛岡南インターチェンジ付近と，盛岡インターチェンジ付近においては，2 回目までの説明会を終えている。</p>

A	<p>2 何も意思表示がないのは、都南工業団地付近だけとなっているのか。</p>
→森田主幹	<p>2 先ほどの説明のとおり、3 候補地については賛成・反対の声があるが、都南工業団地付近については、賛成反対が明確ではないものと捉えている。</p>
A	<p>3 盛岡インターチェンジ付近は、どうなっているのか。</p>
→森田主幹	<p>3 盛岡インターチェンジ付近については、計画していた土地区画整理事業が途中で頓挫したため、区画整理跡地の地権者住民による要望がある一方で、周辺住民から施設整備反対の意見要望書を出されている。</p>
A	<p>4 この地域は農業振興地域であることから、経営等に影響は無いのか。</p>
→畠山室長	<p>4 焼却施設を迷惑施設と決めつけず、温水ハウス等の地域振興事例も他自治体ではあることから、地域の皆様と協議を進めていきたい。</p>
→森田主幹	<p>4 候補地は、山林であり林地開発手続が必要となる。また、周辺は農業地域でもあるので、様々な影響の懸念の声もあるが、農業振興についても、余熱利用についても地域の皆様と一緒に考え、地域振興につなげていければと考えている。</p>
A	<p>5 ダイオキシンの排出は大丈夫なのか。聞くところによると現クリーンセンターでも、市の説明では1,000トン、ある先生の話では1,600トンが排出されている。そこが気になっている。それが地上に降ってくれば農作物への影響があるのではないかと。</p> <p>6 また、健康への影響は無いのか。</p> <p>7 なぜ、人家の無い山林に作らないのか。候補地の選定の経緯はどうだったのか。</p>
→畠山室長	<p>5・6 現クリーンセンターでは、国の環境基準があり、人が健康を維持するのに十分と定められている基準と、さらに厳しい排出基準を設けている。また、定期的にモニタリングを行い、有害物質の観測を行っている状況がある。この状況については、公害防止対策協議会に報告している。新焼却施設についても、同様の協定により農作物、健康への影響は、ほとんど無いと思われる。</p> <p>7 一概には言えないが、東京などでは、人口集中する平坦部の街</p>

	中に建設する事が多くなっている。
A	8 築川など、山の中ではだめなのか。そのようなところは候補に上がらなかったのか。
→森田主幹	8 迷惑施設として、人家の無い所という考えもあるが、広域8市町の施設であり、ごみの多い盛岡市中心部近くであったほうが効率的に処理できる考えで候補地選定を行った。候補地選定に当たり、候補地選定委員会の中で、郊外の方は徐々に外れて行ったという経過になる。
A	9 人のいないところがいいと思う。飛鳥（築川地区）に整備すれば良い。
→櫻事務局次長	9 委嘱された外部委員による委員会で市域全体から様々な条件を考えて選定されたものが今の候補地となるので、また、ほかを選ぶという事は、考えていない。
A	10 このまま進めることになるのか。
→森田主幹	10 現在の4候補地の中から、最終整備候補地1か所を決めて行くものと考えている。農作物や、健康に関し心配する意見が出されているが、心配が少なくなるよう分かり易い説明をしていく。
A	11 説明を繰り返しても、排ガスは出るわけだから、この場所には建設してほしくない。
→森田主幹	11 賛成反対さまざまな意見があることを踏まえ、地域の皆様にご理解を深めてもらい、整備予定地1か所の選定を進めていく。
②B	12 覚書などの問題があるというが、現在の松園の施設を使い続けるのが経済的だと思うので、話し合いはできないのか。
→森田主幹	12 覚書の施設更新の分散立地の考え方が、広域化における集約化と反することなどの問題があり、松園地域との話し合いを行ってきたが、継続するのは、難しいと考えている。
B	13 施設の更新は、30年ごとに行うのか、30年後は同じように候補地を探さなくては行けないのか。
→畠山室長	13 施設の寿命が、25年から30年といわれるため施設更新は必要となる。候補地の選定も場合によっては必要になると思われる。
B	14 今のクリーンセンターの場所に決まったら、建替えは不要ではないのか。
→畠山室長	14 施設の規模が500トンと大きくなるため、松園に決まった場合

	でも新施設への建替えは必要となる。
③C	15 昨年の説明会の内容を聞かせてもらっているが、候補地1か所決定の日程が差し迫っているようだが、いつになるのか。
→菅原事務局長	15 日程については、昨年度の時点では、2月に協議会を行い、9月頃の決定を予定していた。施設内容に対する理解を深めていただくことなく決定することは無く、スケジュール優先で考えてはいない。丁寧な説明をしながら進めていきたい。こういう場を今後も設けていく。現時点では、スケジュール的に難しくなっているということをお話させていただく。
C	16 手代森ニュータウン町内会や新山自治会は以前の施設（門清掃工場）のこともあり、敏感である。近隣地区についても説明会は続けて行うのか。
→菅原事務局長	16 日程のお話はさせてもらっているが、具体的には決まっていない。日程は調整中である。

(5) 閉会

以上